

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和6年度 第2回入間市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和6年9月27日(金) 午前10時00分開会 午前11時30分閉会
開 催 場 所	入間市庁舎 C棟5階 501会議室
議 長 氏 名	齋木 茂
出席委員(者)氏名	安藤龍嗣 佐藤清美 齋木 茂 根岸 桜 長澤健次 西村めぐみ 齋藤勝久 村野裕子 吉野 勝 幸森康夫 田辺暁己 宮寫和子
欠席委員(者)氏名	菱さより 飯寫一博 白木賢信
説明者の職氏名	片寄社会教育課副主幹
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(社会教育委員会議 すべて公開) 1 開 会 2 議長あいさつ 3 協議事項 (1) 公民館活動団体の減少について 4 報告事項 (1) 各委員からの活動報告 (2) 教育部社会教育担当各課からの報告 5 その他 ・次回会議の日程について 第3回 12月20日(金) 午後2時00分～ 市庁舎4階 大会議室 6 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	浅見教育部長、佐藤教育部次長、浅川社会教育課長、 大久保博物館長、平岡図書館長、 奥村社会教育課主幹、片寄社会教育課副主幹、 大久保社会教育指導員、浅見社会教育指導員

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

1 協議事項

(1) 公民館活動団体の減少について

事務局 片寄副主幹より説明

2 報告事項

(1) 各委員からの活動報告

(2) 教育部社会教育担当課からの報告

①社会教育課

浅川社会教育課長

(i) 報告事項

- ・ 令和7年入間市二十歳の集い

(ii) 配付資料

- ・ いるま学びの場
- ・ 入間市民コンサート

②博物館

大久保博物館長

(i) 報告事項

- ・ 開館30周年記念 秋の茶会
- ・ 開館30周年記念 アリットフェスタ特別展「いるま たてものがたり」
- ・ 開館30周年記念セレモニー
- ・ 第2回 旧石川組製糸西洋館コンシェルジュ養成講座
- ・ 旧石川組製糸西洋館一般公開 無料観覧日
- ・ 七五三撮影会 in 旧石川組製糸西洋館 Vol. 4
- ・ あわてんぼうのクリスマス茶会
- ・ 文化財めぐり～黒須地区のたからものを探る～

(ii) 配付資料

- ・ ニュースアリット 116号
- ・ アリットフェスタ特別展チラシ

③図書館

平岡図書館長

(i) 報告事項

- ・ チャレンジ！読書ラリー
- ・ ブックツリーを育てよう！

(ii) 配付資料

- ・ 図書館だより7月号

3 その他

- ・ 次回会議の日程について

第3回 12月20日(金) 午後2時00分～ 市庁舎4階 大会議室

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
齋 木 議 長 片 寄 副 主 幹	協議事項(1) 公民館活動団体の減少について、事務局より説明を願う。 「入間市の公民館をめぐる現状と課題」等について資料に沿って説明。 ・令和6年の定期サークル数は平成25年度から400団体以上減少 ・資料3ページの現場職員の声について ・別冊参考資料の兵庫県、入間市社会福祉協議会の取組について ・いるま学びの場について
齋 木 議 長	何か質問はあるか。よろしいか。
幸 森 委 員	入間市社会福祉協議会の講座にはどれくらい参加者があるのか。
片 寄 副 主 幹	これまでに60名程度参加している。卒業生で部会を作って活動している。
齋 木 議 長	他に何か質問はあるか。よろしいか。
片 寄 副 主 幹	では、グループ協議に移る。協議について事務局から説明を願う。 人材育成に関する具体例を紹介したが、地域社会の拠点である公民館を活用し、入間市では具体的にどのような掘り起し策があるか。地域のリーダーとなりうるような地域の担い手の人材育成を中心に議論を願う。各グループで協議いただきたい。A～Cの3班で協議を願う。協議時間は25分で、その後、協議内容を2、3分で発表していただく。今回の協議内容の結果は事務局でまとめ、次回の第3回会議の議題である「地域貢献のための生涯学習講座とは」の資料とさせていただきます。
齋 木 議 長	それでは指定されたグループに入り協議をお願いする。 ～グループ協議～ ～グループ協議終了～
齋 木 議 長	各グループで協議した内容を2、3分で簡単に発表をお願いする。 まずAグループから発表をお願いする。
佐 藤 委 員	Aグループでは2点について話し合った。まず、公民館活動だが、イベントなどで人は集まるが、自分の得意なところを生かしたいというのはあっても、地域のリーダーになりたいという人が出ているわけではない。リーダーを養成するための講座をつくって見たらどうか。人がたくさん来るようなイベントのときには、公民館の職員も積極的に来て、そういった場で顔つなぎをして欲しい。あと、例えばだが、市内で活動する団体に働きかけて横とのつながりとか、互いに勧誘しあったらどうか、また、学校の先生のOBを勧誘したらどうか。最終的には公民館活動も人数が減っており時間的な制限もあるので団体が減っていくのは仕方がないかもしれないが、職員には働きかけなどを頑張ってもらいたいとの意見だった。二つ目は、公民館活動は地域を活性化させたりする手段の一つであるとして、人材の発掘という観点で話し合った。出た意見としては、男性を引き寄せるような公民館活動をやってほしい。また、これから入間市を担っていく若い世代を巻き込んでいく。具体的には、各中学校とか、小学校とか、生徒会、児童会をやっていた子たちを地区センターのリーダーとしてグループを作って、それを地区センターがサポートしていくのはどうか。それと入間市でやっていた青少年の船の子たちは、地域のリーダーになるという志を持って参加していたと思う。そういった歴代の子に働きかけて、行っただけで終わりではなく、グループを作ってもらえれば、例えば、同窓会のような形で

発言者	発 言 内 容
齋 木 議 長 安 藤 委 員	集めてることで若者を巻き込んで、といった意見だった。以上である。 続いてBグループに発表願う。 高齢化が進んで参加することが難しい。今はネットで学べてしまう。わざわざ公民館に行くのか。そこで出たのは、名前を変えたらどうか。例えば、子ども会というのをやっているのかわからない。かるた会などわかりやすいように名前を変えていく。また、体験教室、親子教室などをやって参加してもらう。若い子を引き込むのであれば、インスタグラムを活用していることが多いと思うので、それが知るきっかけとなる。そういうのを活用されない世代には市報などの紙媒体で、若い子にはそういったものを活用するのがよいのではないかと。中学生、高校生になると部活動の関係がある。ぜひ、部活動の地域連携で、ボランティア部だとか、地域との活動がそのまま部活動として認識されるように地域と学校が一緒になっていく方向にしたらどうか。学校でつくと顧問が出なければいけないという弊害が出る。そうではなくて基本的に地域の人にお任せしますよというシステムを学校が構築していくのはどうか。また、年齢制限を作って新陳代謝をよくしていく。ずっと同じ人でそのサークルには入りにくいということをなくしていくのはどうか。以上である。
齋 木 議 長 幸 森 委 員	続いてCグループに発表願う。 公民館活動の現状は当然の結果ではないか。高齢化や20年前立ち上げた人の思いと今の人の思いの違いなど考えると、縮小していくのはしょうがない。集めなくても集まっている団体もある。今の時代に合った、ニーズに合った団体も散見される。今の自治会でも、会長が替わったら雰囲気が変わっていろいろな活動が立ち上がったたりしている例もある。また、学校などでもニーズなどはあるが、会長やっなど責任を負わされるのは嫌で中々立ち上がらないのが現状である。これらを受けて出た意見としては、社会体験活動の発表場所として、学校だけでなく公民館を活用するのはどうか。明日もSDGsについての発表があるが、何回も子どもたちに発表の場を作ってあげるのがよい。既存の団体についてはしょうがない。新たな団体が立ち上がってくることには力を入れるべきである。そのときに、責任とか、役員とかには拒否反応が出て中々みんな参加しづらい状況にある。できれば役員とかは置かず同じ思いを持った人たちが集まってひとつのグループを形成する。グループとして柔らかいつながりを持たせることが大切ではないか。そのようなつながりを作るための支援をやって見たらどうか。以上である。
齋 木 議 長	各グループからの発表について、何か質問等はあるか。 なければ、協議事項を終わりにする。
吉 野 委 員	続いて、次第4の報告事項に移る。各委員からの活動報告について、報告する方は挙手を願う。報告は2分以内で願う。 i k s 星空ガイドを配布した。児童センターは0歳から18歳未満までの子どものための施設であるが、プラネタリウム、天体観測室があり誰でも利用できる。プラネタリウムは毎日、天体観望会は第3土曜日の夜に行っている。星空かふえというのもあり、お菓子を食べながら星の話ができる。ぜひ来館願う。
村 野 委 員	来週水曜日に社会福祉協議会主催、こども食堂ネットワーク共催でこどもの居場

発言者	発 言 内 容
宮 蔭 委 員	所講演会「こども主体の居場所ってなあに？」という講演会がある。早稲田大学の阿比留先生に来ていただく。社会教育の先生だが、こども食堂がこれだけ世の中に認知された一番の勝因は、これは社会教育だと言わなかったことだ。社会教育という世の中の人には拒否反応を起こすから、と面白い話をする先生である。お越しいただきたい。もうひとつは、来月1日に赤い羽根共同募金のキックオフイベントで霞が関に行く。NHKの取材もあるらしく、アイクルフリーベースの若者と一緒にフリーベースの話をする。機会があったら放送を見ていただきたい。以上である。
幸 森 委 員	文芸入間の担当をしている。これは今年の46号だが、公民館等にも置いてあるので見られたかと思う。現在、47号について8月末までに市民の皆様から寄せられた作品を集めて校正に入っている。来年2月終わりごろには発行される予定である。去年は「わが町いるま」という特集で入間市のことをいろいろ書いていただいたが、今回は30周年を迎える博物館のことを博物館の方に書いていただく。今回の46号も含め、47号も読んでいただけるとありがたい。以上である。
齋 藤 委 員	生涯学習をすすめる市民の会で毎年やっている生涯学習フェスティバルが12月1日にある。まだ検討段階だが、「学びの推し活でハッピーライフ」というテーマで行う。前日の11月30日はイルミンでイルミンまつりがある。時間がある方はお越しいただきたい。それから、まだ確定ではないが、ケーブルテレビの正月の番組において共同で事業をやりたいと考えており、参加者を募るかもしれないので注目しておいていただきたい。以上である。
齋 藤 委 員	ふじさわ未来ネットでは、地域や自治会を巻き込んだ活動をしている。夏祭りとか、先週も竹あかり夕涼みコンサート、それから寺子屋というのを前からやっているが、博物館の方にお話をさせていただいている。我々単独で活動するのも大変なので自治会も含めて活動している。学校との関係では、明日、いるま官民共創まちづくりシンポジウムがある。藤沢中学校、上藤沢中学校、日々輝学園の生徒たちが夢プロジェクトとして2月に発表し、報告提言をした。明日も他の団体とともに参加する。ぜひ足を運んでいただきたい。また、藤沢では竹あかりでまち起こし、村起こしをしようとしている。万燈まつりでも、彩の森入間公園で池の周りに竹あかりを並べて盛り上げていこうと考えている。以上である。
齋 木 議 長	他にあるか。なければ、私からだが、来月16日に富士見市である社会教育委員研修会だが、参加者数が20名程予定人員に達していない。時間がある方は参加いただきたい。次に、教育部社会教育担当各課からの報告について、各課から報告を願う。
浅 川 課 長	社会教育課からは、入間市二十歳の集いを令和7年1月13日の成人の日に行う。今回は会場に余裕があるので、昨年と今年行った別室での同時中継、パブリックビューは行わない。配布資料のいるま学びの場、入間市民コンサートだが、コンサートはバッハザールで行い、まだ券もあるのでぜひ参加いただきたい。以上である。
大久保館長	博物館からは、今年10月で開館から30周年を迎える。それに伴い開館記念イベントをいくつか考えている。西洋館の方も七五三の撮影会からクリスマス茶会と用意しているので、ぜひ、お越しいただきたい。配布資料は、ニュースアリット最

発言者	発言内容
平岡館長 齋木議長	新号とレジメにはないが出来上がったばかりのチラシを1枚配布した。5年ぶりにアリットフェスタ特別展を「いるまたてものがたり」というテーマで開催する。会期は11月1日から12月15日までで、今回、旧黒須銀行の復元修理工事が開始されるということで、旧黒須銀行にまつわる歴史やこれからの未来について、また今はない建物など、それぞれの物語を紹介させていただく。また、市民の方には、それぞれの思い出の建物、歴史についても募集をしている。博物館が30年間蓄積してきたものと情報の集大成としての展示なので、ぜひ来館いただきたい。以上である。 図書館では、読書週間にちなんで、チャレンジ！読書ラリー、ブックツリーを育てよう！という事業を行う。これらを通じて多くの本に親しんでいただけたらと願うものである。また、図書館だより7月号を配布した。ご覧いただきたい。以上である。 何か質問はあるか。 なければ、これをもって報告を終了する。ここで議長の任を解かせていただく。協力に感謝する。 以下、余白
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和6年 9 月 27 日 議長の署名 齋木 茂	